

第2回 地域交流促進検討部会 議事録

日 時	平成12年11月22日(水) 13:30~15:30
場 所	メルパルク NIIGATA 5F スカイドームホール
出席者	検討部会員およびメーリングリスト会員 計22名
部会配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・議事内容のレジュメ ・検討項目アンケート結果 ・部会の検討内容について(案) ・ITSに関する新聞記事抜粋(3枚) ・参考資料(生活情報ガイド URL)
議 事 内 容	
<p>開会 挨拶(座長) 新潟ソフトウェアセンター 代表取締役専務 鈴木 四郎</p> <p>部会検討項目アンケート集計結果報告 事務局</p> <p>部会で取り組む事項及び実証実験について</p> <p>1.部会の検討内容について(案)を説明 事務局</p> <p>2.アンケート集計結果報告および検討内容(案)についての意見交換、質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地という特性を生かしたものを出せばいいのではないかと。県としてのモデル的な部分が明確になっていけばいいと思う。 ポータルサイトのコンテンツとしては、民間企業が作っているサイトとどう調整するかを考えていくべきである。また、画像を含む情報とマッチングしてみればどうか。 ・検討内容(案)について以下の2点が挙げられると思う。 <ul style="list-style-type: none"> <u>コンテンツをどのように作っていくか。</u> <u>コンテンツをどのような形で情報流通していくか。</u> <p><u>発信のしくみ作りが大事である。また、情報流通の共通プラットフォームができればいいと思う。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツを実際に発信していただけるかが重要である。例えば交通機関からどのように情報提供していただけるか等も重要な問題である。行政的な部分での調整が必要となるのではないかと。 ・この部会で検討した内容について今後取り組むというが、<u>取り組むというのは、具体的にどう取り組むことを言っているのか。予算や具体的な動きはどうなっているのか、また県としてはどのように考えているのか、その辺が分からないので教えて欲しい。</u> ・アンケートの結果は自分が考えていた内容と大体同じだった。この部会で地域とやっているが、県の広範囲の地域の中でどの地域を特定するのか、議論が必要なのではないかと。 ・公共交通・物流情報化検討部会の座長をやっているが、他の部会でどのようにやっているのか参考にさせていただきたく出席した。私も何を生み出せばいいのかという話を話している。 <p>運輸局としては、バスのロケーションシステムを来年度やる予定である。検討内容(案)の中にもあるポータルサイトができれば、情報提供していく方がいいのではと考えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通・物流情報化検討部会の会員である。(本部会へはメーリングリスト会員) <p>近々で必要なのは、中山間地 デマンドバスの運行、都市部 事故・渋滞の情報提供だと思われる。また、いかに高齢者や年少者が使いやすくなるかが課題だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通・物流情報化検討部会の会員である。(本部会へはメーリングリスト会員) <p>道路・駐車場の情報提供はいいと思う。また、地域産業(地場産業)のために、何か情報発信ができればと思う。あまり ITS に関係ないかもしれないが、就職情報が分かるような情報提供も必要ではないだろうか。</p>	

- ・積雪地型 ITS 検討部会に所属している。この部会は全体的なしくみ作りの部会なので、他部会との情報交流が必要ではないか。積雪地型や公共交通の部会と連携しながら全体的なプラットフォームに組み込んでいけばいいのではないか。
- ・プラットフォームに何を載せるかを検討していく必要がある。また、インフラの部分、端末をどのように普及させていくかも検討課題だろう。
- ・この検討部会で検討する内容は広い範囲なので難しいかもしれない。資料の検討内容(案)の図は非常に分かりやすい。その中の共通プラットフォームの作り方が重要であり、使いやすいもの、情報量がのりやすいものを作るのが大変だと思う。
- ・資料の検討内容(案)はよくまとまっていると思う。社内でも話をしているが、共通のプラットフォーム作りが重要であるし、コンテンツはリアルタイムの更新が大変だと思う。また、受信側を「誰でも簡単に」とするならば、そのしくみ作りも大変である。それらを実証実験として行うならば、どうアピールしていくのか考える必要があると思う。
また、各部会と重なる部分をどう調整するかが課題となってくるだろう。
- ・共通プラットフォームが大事であるし、リアルタイムの情報が重要である。また、受信については携帯電話が重要となってくると思われるが、高齢者も含めると“誰でも”使えるものということが検討課題になってくるだろう。
- ・地域の情報拠点（サービスセンター）が必要ではないか。そこに連絡すれば情報が全て得られるというような拠点が必要なのではないか。情報のデータベース化、コンテンツが必要となるが、それらの管理も必要だろう。
- ・アンケートはよくまとまっている。一般利用者がどういった情報が欲しいか、どのように受信したいかを聞くべきだと思う。
- ・ITS と地域情報をどう結びつけるか、例えばホテルの空き情報と道路情報をどのように組み合わせるのが難しいかもしれない。
福祉と ITS に関する情報はどこかでやっているのではないか。考える必要はあるかもしれない。また、新潟らしさをどのように出すかも課題である。
- ・検討内容(案)の図は理想的な図である。受信側として i-mode は便利だと思う。それから個人的な意見だが、冬の道路混雑情報を早く提供して欲しい。
- ・利用者に対する広報活動はどうするのか。情報弱者の方も使えるように整備が必要である。
- ・現況で天気、渋滞情報を実施しているところもあるので、それを参考にするのもいいのではないか。また、受信側としては、携帯電話等を使ったことがない方向けに電話などの端末の充実と、それらの広報活動が大事である。
- ・他部会との調整による絞り込みが必要ではないか。コンテンツは運用段階で変わってくるので、どのようなキャパシティを持つのか、情報の変化に対応できるようにしくみを作っていくか難しいかもしれない。
高知県でデマンドバスの導入を行ったが、目的は福祉だった。新潟県で行う場合も目的を明確にしないといけないだろう。地域もはっきりと明確に決めた方がいいのではないか。さらに情報リテラシーも弱者に対してどうするか考えなければならないし、PR もどうするか検討する必要があるだろう。
- ・リアルタイムとあるが、現在の状況だけでなく、この先どうなるか、例えば何時間後に混むかもしれない等の予報も必要ではないか。
新潟の外(県外)と何かできる取り組みがあるといいかもしれない。道の駅ネットワーク等。ITS の技術を使っているんな実験をした方がいい。
また、アンケート結果は原文に近い形で発言者も出した方がいいと思う。(皆様からいただいた原紙を休憩時間に閲覧できるようにした。)
- ・5 省庁でサービスについて 127 のサービスはオーソライズされている。新潟県もパーツや考え方は出来上がっている。その中で何を優先させるかを考えるべきである。
地域交流として交通に関わるものをホテル、イベントと関わらせてうまく情報提供していくことが大切ではないか。
また、受信側としてインターネット、i-mode の他に、高齢者など情報弱者に対してメディアフリー（例えばケーブルテレビ、無線等）にした方がいいと思う。また情報提供の場所として、企業のフロアを考えてもいいのではないか。

休憩

今後の進め方、スケジュール等について

1. 今後の進め方、スケジュール等について説明 事務局

- ・ 各部会との調整会議を行い、各部会で担当する内容のすみ分けを行う。
- ・ 1月下旬に第3回検討会議を行う。
- ・ それまではメーリングリストを使って情報提供、意見交換等をしていきたい。

2. 今後の進め方等について意見交換、質疑応答

- ・ メール中心でいいと思う。共通プラットフォームとして「生活情報ガイド」も1つのプラットフォームではないか。見て参考にするのもいい。
- ・ 雪をテーマにするのであれば早めにやった方がいいのではないか。
- ・ 進め方はいいと思う。他のところでやっている自治体を参考にするのもいいと思う。
- ・ メールを使ってやり取りして進める方法でいいと思う。
- ・ 他部会の情報を知るのもいいと思う。
- ・ 雪と交通関係を結びつけるのが手取り早いかもしれない。(調整が必要)
- ・ 進め方、スケジュール共にいいと思う。メールで意見交換をどんどんすればいいと思う。
- ・ 他の部会の活動状況が分かるようにして欲しい。また、県民に公開するべきだと思う、そのための模範とならないといけないと思う。
- ・ 進め方、スケジュール共にいいと思う。他部会と連携を取り、当部会の進め方を明確にしていくのが大事だろう。
- ・ スケジュールもメール中心の進め方も共にいいと思う。道の駅は拠点となり得る所である。また、情報をインターネットで提供し、それを足掛かりに広めていくのがいいと思う。
- ・ 進め方、スケジュール共にいいと思う。提供して欲しい情報や、情報発信の最新技術を部会の中でも提供し合うのがいい。
- ・ 進め方、スケジュール共にいいと思う。実証実験に向けて事例作りをどうやっていくかを考えていくべきだと思う。
- ・ 進め方はいいと思う。他の事例を参考にしてより良い方向に行くのを祈っている。
- ・ 今後アンケートの部分も細かくしていただき、それを何度も繰り返すということをして、ヒントを得ていきたい。
- ・ 他の部会との兼ね合いの中で、この部会でしかやれない、またはやるべき事をもう少し掘り下げることが必要ではないか。(アンケート等によって)
- ・ 目標設定を明確にすることが必要ではないか。身近なところから実施していくのがベストだろう。「生活情報ガイド」については、利用促進キャンペーンをやってみてはどうか。その中で問題点、改善点を考えていけばいいのではないか。
- ・ スケジュールはいいと思う。他部会との役割の調整は密にしていきたい。
- ・ 進め方、スケジュール共にいいと思う。各部会との仕切り作りをしていただきたい。
- ・ 進め方、スケジュール共にいいと思う。方向性としては固まってきていると思う。検討内容(案)を進めるにあたって、それぞれの得意分野について進め方を提案していくのもいいと思う。
- ・ 進め方、スケジュール共にいいと思う。インパクトのある実証実験が必要ではないか。他の部会をリードして県に対しても提議して行って欲しい。
- ・ 進め方、スケジュール共にいいと思う。交通の利便性については公共交通部会と重ね合う部分ではあるが、デマンドバスを今までと違ったバスと考え、ポータルサイトと結びつけるとおもしろいので、完全に公共交通だけでやるということではなく、部会間の調整の中でうまくやって欲しい。

最終的な進め方、スケジュールについて 事務局

- ・ 事務局から追加の意見をもらうためのアンケートを再度実施する場合もある。
- ・ 第3回の日程は、平成13年1月25日(木) 13:30~15:30
場所は追ってメーリングリストを通じてお知らせする。

